

令和4年第1回
区づくり推進横浜市会議員会議
会議資料

令和4年2月4日
都 筑 区

目 次

令和4年度 都筑区編成予算案 総括説明書	1
令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案 概要	2
施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
1 街のにぎわいづくり事業 重点	4
2 文化活動支援・スポーツ振興事業	5
3 メイドインつづき推進事業	6
4 都筑 国際交流プログラム	7
5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	8
施策2 つながりと協働を育むまち	
6 デジタル化推進事業 重点 新規	9
7 自治会・町内会支援事業 重点 拡充	10
8 区役所改善推進事業	11
9 広報・広聴事業	12
10 まちづくり総合調整事業	13
11 地域支援の種(たね)事業 拡充	14
12 市民活動・生涯学習支援事業 拡充	15
13 地域de育む青少年事業	16
14 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	18
施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち	
15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	20
16 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	23
17 つづき健康づくりサポート事業 拡充	24
18 地域で支える高齢者支援事業	25
19 障害者交流啓発事業	26
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	27
21 安全・安心なまちづくり事業	29
22 危機管理対策推進事業	30
23 食と暮らしの安全推進事業	31
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 環境にやさしいまち推進事業	32
25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 拡充	33
26 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業	34

※ 重点事業は **重点**、拡充事業は **拡充**、新規は **新規**、と表記しています。

令和4年度 都筑区編成予算案 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増△減
1 自主企画事業費	101,243	100,867	376
2 統合事務事業費	41,041	41,234	△ 193
(1) 統合事務費	22,296	22,216	80
(2) 統合事業費	18,745	19,018	△ 273
3 区庁舎・区民利用施設管理費	635,782	638,987	△ 3,205
合 計	778,066	781,088	△ 3,022

＜内訳＞

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	令和4年度	令和3年度	増△減
(1) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	17,189	18,098	△ 909
(2) つながりと協働を育むまち	33,534	29,803	3,731
(3) いきいきと健やかに暮らせるまち	19,672	17,656	2,016
(4) 安全・安心なまち	25,032	27,767	△ 2,735
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	5,816	7,543	△ 1,727
合 計	101,243	100,867	376

2 (2) 統合事業費

区 分	令和4年度	令和3年度	増△減
広報よこはま発行事業	10,167	10,272	△ 105
市民相談事業	1,504	1,499	5
クリーンタウン横浜事業	1,460	1,590	△ 130
消費生活推進員活動事業	493	493	0
緊急時情報システム運用事業	430	440	△ 10
スポーツ推進委員支援費	1,309	1,807	△ 498
青少年指導員事業	1,862	1,397	465
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	1,520	0
合 計	18,745	19,018	△ 273

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	令和4年度	令和3年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	223,320	226,107	△ 2,787
区版市民活動支援センター	931	931	0
土木事務所管理費（光熱水費含む）	6,543	6,812	△ 269
地区センター等管理費	150,967	149,604	1,363
ログハウス管理費	8,680	7,950	730
公会堂管理費（光熱水費含む）	32,991	33,329	△ 338
老人福祉センター等管理費	106,463	106,463	0
コミュニティハウス管理費	52,346	51,930	416
区スポーツセンター管理費	40,213	40,213	0
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	7,786	8,066	△ 280
その他（広場・遊び場）	482	482	0
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,060	7,100	△ 2,040
合 計	635,782	638,987	△ 3,205

■令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

令和4年度の予算については、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した取組を推進するとともに、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、5つの柱に基づき編成しました。

地域福祉保健計画「つづき あい」に掲げた取組を地域と共に進め、地域課題の解決を図るとともに、予算編成方針と併せて作成した「都筑区役所デジタル化推進宣言」に基づきDXを推進し、区民サービス向上や業務効率化につなげます。

施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 17,189 千円(対前年度比 △ 909 千円)

都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めるとともに、ポストコロナを見据え、にぎわいの創出を支援し、活力あふれるまちづくりを進めます。



都筑区商店街連合会公式キャラクター つづきたい

施策2 つながりと協働を育むまち

予算額 33,534 千円(対前年度比 3,731 千円)

人と人とのつながりを実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。

また、第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進するほか、デジタル技術を活用し、共感と信頼の区役所づくりを進めます。



自治会町内会活動の様子

施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち

予算額 19,672 千円(対前年度比 2,016 千円)

子育て世帯に選ばれるまちとして、0歳児地域育児教室(赤ちゃん会)の拡充や育児不安を抱える養育者支援など、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、各世代に応じた健康づくりを進めます。



赤ちゃん会の様子

施策4 安全・安心なまち

予算額 25,032 千円(対前年度比 △ 2,735 千円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や、地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、地域や関係機関・団体と連携して、震災や風水害に対する更なる取組を進めます。



防災フェア出展の様子

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 5,816 千円(対前年度比 △ 1,727 千円)

緑地や農地の多い都筑区において、さらに花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備に取り組むとともに、魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。

また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。



ナチュラルガーデン (センター南駅周辺)

デジタル化の推進に関する取組

【予約受付や相談窓口のオンライン化】

- ・市民活動・生涯学習支援事業

【講座の動画配信やオンライン講座開催の拡充】

- ・都筑・国際交流プログラム／・妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業

【インターネット接続用無線LAN環境やWEB会議促進のための環境整備】

- ・デジタル化推進事業

【区HPIにおけるオープンデータの提供やツイッター等での情報発信】

- ・広報・広聴事業

(単位：千円)

重点	No. 自主企画事業名	令和4年度	令和3年度	増△減
施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち				
★	1 街のにぎわいづくり事業	6,229	6,419	△ 190
	2 文化活動支援・スポーツ振興事業	2,629	2,629	0
	3 メイドインつづき推進事業	5,796	5,820	△ 24
	4 都筑 国際交流プログラム	1,935	2,030	△ 95
	5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	600	600	0
	廃止 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業	0	600	△ 600

施策2 つながりと協働を育むまち

★	6 デジタル化推進事業	2,000	0	2,000
★	7 自治会・町内会支援事業	5,260	3,797	1,463
	8 区役所改善推進事業	12,043	12,057	△ 14
	9 広報・広聴事業	2,359	2,291	68
	10 まちづくり総合調整事業	2,845	2,845	0
	11 地域支援の種(たね)事業	1,476	1,191	285
	12 市民活動・生涯学習支援事業	3,007	2,844	163
	13 地域de育む青少年事業	983	1,041	△ 58
	14 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	3,561	3,737	△ 176

施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち

★	15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	12,428	9,620	2,808
	16 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	3,415	3,230	185
	17 つづき健康づくりサポート事業	2,193	2,841	△ 648
	18 地域で支える高齢者支援事業	534	813	△ 279
	19 障害者交流啓発事業	1,102	1,152	△ 50

施策4 安全・安心なまち

★	20 災害にそなえる自助・共助の推進事業	4,896	4,452	444
	21 安全・安心なまちづくり事業	9,583	9,782	△ 199
	22 危機管理対策推進事業	9,765	12,602	△ 2,837
	23 食と暮らしの安全推進事業	788	931	△ 143

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

	24 環境にやさしいまち推進事業	1,369	2,239	△ 870
	25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	983	515	468
	26 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業	3,464	4,789	△ 1,325

※ 4年度に新たに実施・拡充する項目については下線が引いてあります。

施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

1 街のにぎわいづくり事業 重点	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	622万9千円	641万9千円	△19万円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第28回都筑区民まつり」を実施します。

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会の皆様とともに区内の商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら事業を進めます。「商店街からのラブレター事業」を継続して実施するとともに、インフルエンサー※を活用することによる新しい広報を実施します。また、プロスポーツチームと連携した取組も行います。

※インターネット上において発言力があり、他人の行動等に影響を与える人物のこと

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の広場を会場に、「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022」を都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。



《都筑区民まつり》



《ドイツクリスマスマーケット in 都筑》

【区配事業】商店街活性化イベント助成事業（経済局）

商店街が実施するイベントに対し補助します。

2 文化活動支援・スポーツ振興事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	262 万 9 千円	262 万 9 千円	0 円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行い、区民大会などのスポーツ活動や区民の皆様の健康増進等を支援します。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」（令和元年度から令和5年度まで）に基づき、「みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館」や「つづきブックフェスタ」等の事業および読書活動推進に関する懇談会を実施し、区内の読書活動を推進します。

6 パラスポーツ関連イベントの開催

パラスポーツの普及啓発につながる講演会や体験イベント等を開催します。

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

3 メイドインつづき推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	579 万 6 千円	582 万円	△2 万 4 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 中小製造業支援

(1) 技術展示会出展支援

メイドインつづき参加企業に対し、神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置を行います。

また、企業紹介冊子の作成等を行い、参加企業の販路拡大を推進します。

(2) 事業PRイベント

メイドインつづき参加企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、各企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力発信を行います。

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね月4回）、区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、飲食店を巡るスタンプラリー等、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむためのクッキング動画を作成・公開します。

【区配事業】ものづくり魅力発信事業（経済局）

若手を中心とした人材の確保・育成につなげるため、局と連携して地域の中小製造業の魅力を発信し関心を高め、地域経済の活性化を進めます。

【区配事業】身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局）

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

4 都筑 国際交流プログラム	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	193万5千円	203万円	△9万5千円

外国人及び日本人が共に安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。
また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)」に以下の事業の運営を委託します。

(1) 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。やさしい日本語講座の自治会町内会への周知を強化し、外国人支援を図ります。

また、都筑・ボツワナ交流児童画展等、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

2 外国人支援事業

防災ノート(多言語版及び昨年度区独自で発行したドイツ語版)を活用し、イベント等で配布することで、区内在住外国人に向けた防災対策を支援します。



《ボツワナ大使及び大使夫人が来庁され、
都筑・ボツワナ交流児童画展を鑑賞する様子》



《ボツワナ大使及び大使夫人が
茅ヶ崎小学校児童と交流する様子》

【区配事業】外国人材受入・共生推進事業(国際局)

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りを支援するとともに、チームの協力も得ながら事業を展開することにより、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施

横浜ビー・コルセアーズと区内中学校とのバスケットボール教室などの開催により、プロスポーツ選手等と関わる機会を提供します。また、応援パネル展の開催やカウントダウンボードの設置を行うとともに、コーチなどチームスタッフの知識や経験を活かした区民の皆様の健康づくりに資する取組等を実施することにより地元ファン層の拡大を図ります。

2 都筑区応援dayの実施

区民の皆様により関心を持っていただくため、ホームアリーナである横浜国際プールでの試合日の中で観戦の機会を提供する「都筑区応援day」を実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図ります。



《都筑区応援dayの様子》

施策2 つながりと協働を育むまち

6 デジタル化推進事業 重点 新規	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	200 万円	0 円	200 万円

DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するため、令和3年8月に「都筑区役所デジタル化推進宣言」を策定しました。その宣言に基づき、ICT環境の整備を図り、区民サービス向上や業務効率化につなげます。

1 デジタル化推進事業

1階一部エリア及び2階フロアについて、インターネット接続用無線 LAN 環境（公衆無線 Wi-Fi）を整備することにより、待ち時間のストレス緩和など、区民満足度の向上を図ります。

WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充し、業務効率化を図ります。

- ・インターネット接続用無線 LAN 環境の整備
- ・WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充

○都筑区役所デジタル化推進宣言

都筑区役所では、デジタル技術等を活用し、区民サービスの向上と事務の効率化を推進するため、次の事項に取り組みます。

- 1 Web による会議、講座、講演会の開催を積極的に進めます
- 2 申請者の負担軽減と手続の効率化を図るため、各種補助金の申請事務の電子化を進めます
- 3 区役所内部の会議、打合せを原則、ペーパーレスで行います

【局事業】区役所デジタル化推進事業（デジタル統括本部）

区役所職員の柔軟な働き方改善のため、庁内 LAN 回線を無線で利用できる環境整備、ファイルサーバー環境の改善に取り組みます。

【参考】横浜市 DX 戦略（仮称）

本市では、「市民、地域にデジタルの恩恵を行きわたらせ、人や企業に優しい魅力あふれる都市をつくる」ことを大切に、効果的なデジタルの実装をデザインする横浜市 DX 戦略の策定を進めています。

7 自治会・町内会支援事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	526 万円	379 万 7 千円	146 万 3 千円

自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会自治会等と連携しながら行います。

- ・ 転入者等を対象としたアンケートの実施による意識調査・分析の実施
- ・ 未加入世帯、未設立・新築マンションへの働きかけ
- ・ 転入手続時の自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・ 区内各駅や施設等での自治会町内会活動紹介冊子の配架
- ・ 宅建協会横浜北支部と連携した自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・ 加入促進のためのトートバッグの作成
- ・ 連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・ 自治会町内会活動紹介冊子（2022年版）の発行

2 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

3 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）定例会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行います。

【区配事業】自治会町内会館整備費補助事業（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行います。補助メニューは、新築・増築・改修・修繕で、整備費の2分の1を補助します。

8 区役所改善推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	1,204万3千円	1,205万7千円	△1万4千円

区民満足度の向上のため、来庁者の皆様が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会を実施します。
- (2) 区職員からの提案をもとに窓口サービス等の改善を実施します。

2 区庁舎環境改善

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎の環境改善や整備を行います。

3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の時期（2月16日～3月15日）に、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士等の協力を得て確定申告（医療費控除の還付申告）に係る申告書の作成支援・受付を行います。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。（配置時間：8時45分～17時）

また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。

【区配事業】市役所RE100推進事業（温暖化対策統括本部）

2030年までに公共施設のLED化100%を目指した取組を進めています。その一環として、都筑区総合庁舎も、3、4年度にLED化工事を実施します。

9 広報・広聴事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	235万9千円	229万1千円	6万8千円

区民の皆様に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症に関する情報を速やかに発信します。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の皆様の理解を深めるため、主に広報よこはま都筑区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

2 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供、若年層に向けたツイッター等での情報発信や、新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報の広報を区ホームページやツイッターで行います。

3 PRボックスの活用

毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

4 都筑区ハンドブック発行事業

3年度に発行した「都筑区ハンドブック」の時点を更新します。

5 主要事業の広報、地域における意見交換会

(1) 主要事業の広報

区内主要事業を、広報よこはま都筑区版や区民ホールでのパネル展示で広報します。

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

10 まちづくり総合調整事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	284万5千円	284万5千円	0円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）等を行います。

(2) その他企業との連携

区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。



《地域連携調査研究発表会の様子》

2 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

6年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、整備の進捗等を紹介する、区民文化センターニュースを発行します。

〈完成イメージ〉



《センター北駅側から区民文化センターを見た様子》



《みなきたウォーク側から全天候型広場を見た様子》

※こちらのイメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

11 地域支援の種（たね）事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	147万6千円	119万1千円	28万5千円

地域の特性や現状を踏まえ、地域が抱える個別課題の解決に向けた具体的な支援を行い、区民の皆様の自助共助の取組を下支えすることで、地域運営の総合力を高めていきます。

1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業

自治会町内会を対象に、個々の地域課題に対応したアドバイスを担う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を 各地区に派遣する回数を増やし、地域の実情に応じた個別具体的な支援で課題解決を促します。



《HP や SNS の活用についての
オンラインアドバイスの様子》



《子ども会の活性化や多世代交流に関するアドバイスにより実施したものづくり体験イベントの様子》

2 NPO法人情報誌「tsuzuki ANCHOR」の発行

区内のNPO法人が大切にしていること、特徴や日ごろの活動の様子、地域とのつながりなどを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促します。

《tsuzuki ANCHOR》



【区配事業】元気な地域づくり推進事業（市民局）

地域活動の担い手不足に対応するため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施し、地域人材の発掘・育成に取り組みます。

12 市民活動・生涯学習支援事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	300万7千円	284万4千円	16万3千円

市民活動・生涯学習支援のために、活動のきっかけづくりや活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設の連携・交流が更に進むように取り組みます。

1 講座

市民活動のきっかけづくりや市民団体のスキルアップを目的に講座を開催します。

- (1) 市民活動の担い手づくり講座(大人の学級)
- (2) 女性の活躍支援講座(輝く女性応援プロジェクト)
- (3) 市民団体のスキルアップ講座(縁ジンミーティング)
- (4) 市民ライター養成講座

2 交流会

区民の皆様や市民団体、区民利用施設同士の連携・交流の促進を目的に、交流会を開催します。

- (1) 区民同士の交流会(つながりカフェ)
- (2) 市民活動の活動発表、交流会(つづき^{びと}人交流フェスタ)
- (3) 区民利用施設情報交換会

3 広報紙

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙「縁ジン」を発行します。

4 補助金

市民団体が行う公益性の高い事業に補助金を交付し、事業終了後は報告会を開催します。

5 区民活動センター利用促進事業

区民活動センター予約システムの導入や、オンライン相談窓口の開設等により、区民活動センターの利用促進を図ります。



《輝く女性応援プロジェクト》



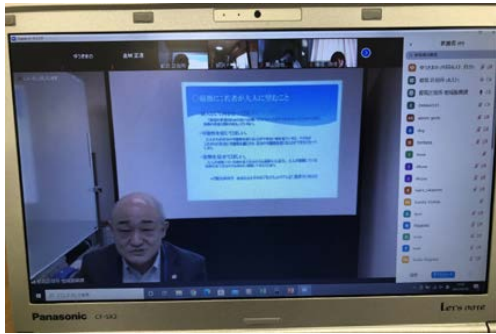
《つづき^{びと}人交流フェスタ》

13 地域 de 育む青少年事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	98 万 3 千円	104 万 1 千円	△5 万 8 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。



青少年支援者育成講座
発達障害について

都筑区青少年指導員連絡協議会

2021年6月13日

《青少年支援者育成講座》

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあと de ボランティア プレコース（小学校高学年向け）

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。



《はあと de ボランティア》

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。



《つづきウォーク&フェスタ》

【区局連携促進事業】 青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

青少年の地域活動拠点において、「ひきこもり」をはじめとした青少年を取り巻く様々なリスクについて、発生する前又は早期の把握に努め、必要な支援に繋がられるよう、地域人材・支援団体との連携体制の構築・強化に取り組みます。

【区配・局事業】 青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

14 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
		356 万 1 千円	373 万 7 千円

2 年度に策定した第 4 期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 地域懇談会の開催

第 4 期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合町内会自治会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

- (1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。また、地域活動の担い手確保につなげるため、マンガ版「やさしいちふく」(仮称)を発行し、子どもや子育て世代を対象に冊子を配付します。
- (2) 第 4 期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

3 地域福祉保健活動補助金

地域での福祉保健活動の活性化や取組支援を進めるため、都筑区社会福祉協議会の運営する「つづき あい基金」助成金への補助を行います。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

地域の状況やテーマなどに応じて、必要な人に支援が届く地域の仕組みづくりや柔軟なネットワークづくりについて、地域ケアプラザと連携し、各地域の支えあい連絡会等の場を活用して検討を進めます。

5 計画情報誌の発行

第 4 期計画を推進する各地域の取組状況等の情報を区全体で共有し、活動の活性化等を図るため、地域福祉保健計画情報誌「つづき あい通信」を発行します。

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

第 4 期計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民の皆様による意見交換を行うため、都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催します。

また、併せて地域福祉保健の分野ごとの取組状況や課題の共有を行うため、子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換会を開催します。

7 「つづき あいフォーラム」の開催

第4期計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。



《地域懇談会》



《支えあい連絡会》



《計画情報誌「つづき あい通信」》



《つづき あいフォーラム》



《計画本冊子》



《地区別計画冊子》



《都筑区地域福祉保健計画啓発

バージョン「つづき あい」》

【局事業】地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期横浜市地域福祉保健計画（計画期間平成31～令和5年度）を推進します。

施策3 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	1,242万8千円	962万円	280万円8千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センターPopola（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施します。

両会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるようにします。



《休日両親教室の様子》

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室について、令和4年度から会場数を拡大するなど実施回数を増やし、仲間づくりや育児相談をします。



《赤ちゃん会の様子》

3 外遊び広め隊事業

区内の子育て支援の団体・関係者や乳幼児の親子を対象に、外遊びの大切さを伝え、自主的に外遊びを継続していけるような研修会を区内の公園等で開催します。また、地域の外遊び団体を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修(子育てネットワーク会議)及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。また、送迎の必要がある児童等の支援を行います。

8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

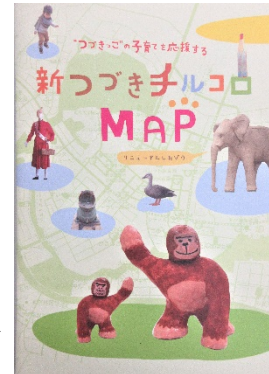
小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の市立小学校で実施します。

10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の市立中学校の生徒を対象に実施します。

11 区民による子育てマップの作成（つづきチルコロMAP）

区民の皆様から寄せられた外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ（つづきチルコロMAP）をポポラと協働して更新し、発行します。



《新つづきチルコロマップ（令和2年度作成版）》

【区配事業】両親教室（母子保健指導事業）（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために両親教室（1コース3回/月）を実施します。

【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課職員を対象にした人材育成のための職員研修を2回、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした関係者向け講演会を1回実施します。

【区配事業】放課後児童育成事業（こども青少年局）

すべての子どもたちに豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するとともに、増加する留守家庭の子ども達の居場所を充実させるため、小学校施設を活用した放課後キッズクラブや放課後児童クラブ（学童）の運営を支援します。

【区配事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

養育環境に課題がある世帯の子どもとその保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。

16 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	341 万 5 千円	323 万円	18 万 5 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食や離乳食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

5 積木交流

市立保育所にある合計2万個の積木を使い、地域の親子が参加できる育児講座を開催するなど、「つみきのつづき」を広めていきます。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局）

市立保育所では、民間保育所や幼稚園を含めた施設や人材を保育資源ととらえ、地域の子育て支援を推進するとともに、各保育資源が連携して保育資源全体の保育の質の維持・向上を図っています。市立保育所が核となり地域の親子に対する仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供などに努めます。

【区配事業】認定こども園及び保育所地域子育て支援事業（こども青少年局）

保育所の地域子育て支援事業として、市立保育所や、民間認定こども園・保育所で園庭開放を実施します。

17 つづき健康づくりサポート事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	219万3千円	284万1千円	△64万8千円

区民の皆様の自主的な健康づくりを支援するため、保健活動推進員、食生活等改善推進員等との協働により生活習慣病やがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

生活習慣病やがんについて、さまざまな機会をとらえ、チラシやリーフレットを活用した啓発を行います。

また、ウォーキングポイント事業を普及し、区民の皆様の運動習慣の向上・継続を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象に、ウォーキング講座を開催します。

2 食育推進事業

15歳未満の人口割合が高い区の特徴に応じ、子どもたちが将来にわたり健全な食生活を送ることができるよう小中学校・保育園等と連携し、情報交換会やイベントを実施します。

また、子育て支援施設での食事相談にあわせて、養育者の関心が高い乳幼児期のむし歯予防や歯磨きに関する歯科相談を実施します。

3 地域の健康づくり応援事業

連携・協力を促し地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や各推進員の合同の研修会を行います。

4 健康づくりネットワーク事業

生涯にわたる健康づくりを推進するため、保健活動推進員や食生活等改善推進員、医師会・歯科医師会、地域ケアプラザ等の関係機関・団体と情報交換・意見交換を行います。

5 こどものお口の健康事業

歯みがきに対する不安が大きい1歳児と養育者に対して、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝えるための教室を開催します。

また、乳幼児時期から学齢期における、食べる・話す・呼吸するなどの機能が十分に発達していない「口腔機能発達不全症」について、専門職の指導力を強化するため、歯科医師会と連携して、歯科医師、歯科衛生士、栄養士等を対象にした研修会を開催します。

6 健康情報提供事業

来庁者の皆様が健康づくりに関心を持つよう、保険年金課待合スペースで取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施します。

【区配事業】がん検診・特定健診啓発事業（健康福祉局）

乳がん検診推進月間にパネル展の実施、ピンクリボンやチラシ配布等による啓発を行うなど、さまざまな機会をとらえてがんの知識や健診について啓発を実施しています。

18 地域で支える高齢者支援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	53万4千円	81万3千円	△27万9千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム

認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。

(2) 認知症サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。



《R3年度認知症フォーラムの様子
(認知症当事者と認知症サポート医の講演をオンライン併用で実施)》

2 認知症人材育成事業

地域で認知症についての理解を深める活動に携わる人材（キャラバンメイト等）を育成するための講座を実施します。

3 福祉保健情報提供事業

(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営
チラシ・パンフレットの配布や閲覧により、福祉保健に関する情報提供を行います。

(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」や介護予防に関するパンフレット等を窓口等で配布します。



《都筑区シニア利用施設マップ》

19 障害者交流啓発事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	110万2千円	115万2千円	△5万円

障害があっても住み慣れた地域で生活していけるように、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

- (1) 障害児・者による芋の収穫体験
- (2) ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ



《令和3年度 ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ パネル展の様子》

2 障害者地域啓発事業

- (1) 区民まつり福祉バザー

地域住民が参加する区民まつり等において、障害者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会とします。

- (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害者施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について区民の皆様への周知を支援します。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	489万6千円	445万2千円	44万4千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応します。2、3年度に引き続き9台の更新を進めることで、都筑区内全27拠点の整備が完了します。

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて、自治会町内会等を対象とした出前講座や研修会を開催するとともに、区民向け防災・減災講演会を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。



《出前講座の様子》

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

地域の実情に合った要援護者支援に関する活動等を支援します。

令和3年度に実施した自治会町内会を対象にしたアンケート調査結果等も踏まえ、災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、災害時要援護者名簿の提供を推進します。さらに地域での活動が推進されるよう連合町内会自治会に対し、補助金を交付します。また、地域の方や地域ケアプラザなどの関係機関と避難行動支援に関する意見交換を行う場を設けるほか、地域の取組等を紹介する 事例集を製作します。

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

災害の備えを促すため、健康づくりの観点から作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」を増刷し、自治会町内会や地域防災拠点等で広く区民の皆様に配布します。あわせて様々な機会をとらえて啓発します。

7 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、飼い主向け講演会や「我が家のペット防災」パネル展示を実施し、飼い主に対する啓発を進めます。また、地域防災拠点においてペット同行避難訓練を実施していただけるよう、ペット防災のスターターキット（受付物品等）を用意するなどして各拠点の取組を支援します。

【局事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーや地域防災拠点運営委員を対象に、防災・減災推進研修や地域防災拠点運営研修を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

また、地域で実施する自助・共助の取組に対して、地域特性に応じた支援を実施します。特に、近年頻発する風水害では、全国各地で逃げ遅れにより大切な命が失われるなど甚大な被害が毎年発生していることから、マイ・タイムラインの配布や作成方法を学ぶ研修など、地域住民一人ひとりが風水害に対して具体的に備えられるよう、関係区局と連携した支援を実施します。

さらに、市内唯一の体験型施設である横浜市民防災センターと連携し、広く市民を対象にしたテーマで防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

【区配事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

地域の実状に合わせた研修プログラムや講演会の実施、啓発事業等により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

21 安全・安心なまちづくり事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	958 万 3 千円	978 万 2 千円	△19 万 9 千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の皆様の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

【区配事業】地域防犯活動支援事業（市民局）

防犯に関する物品などを自治会町内会等に配付することにより、地域での防犯活動を支援します。

【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

放置自転車等が多い駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制とマナーアップを図ります。

22 危機管理対策推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	976万5千円	1,260万2千円	△283万7千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営に必要となる資器材の維持管理や、災害時に迅速かつ的確な情報収集・発信をするための運用を整備します。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。
- (3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。
- (4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。



《帰宅困難者対策訓練》

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくため、防災・生活マップ等を区民の方へ配布し、日頃から災害対策について理解を深めていただけるよう啓発を図ります。

3 風水害対策等の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、間仕切りや手指消毒用アルコールなどの消耗品を使用状況に応じて補充します。
- (2) 防災用スピーカーの安定した運用を行うため、区役所設置の放送制御装置の機器更新を行います。また、鶴見川及び早淵川沿いに設置した防災用スピーカーの放送設備についても、順次更新をします。



《防災用スピーカー》

4 災害時における情報収集及び情報発信

- (1) デジタルホワイトボードを導入し、区本部体制設置時はICT技術を活用して各種防災情報の収集や区内の被害状況等を集約・共有することで、区本部体制の充実強化を図ります。
- (2) 災害発生時や災害発生が見込まれる際、緊急時情報伝達システムを活用し、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一齐に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

【局事業】高潮・洪水ハザードマップ作成事業（総務局・環境創造局）
浸水ハザードマップを全世帯・全事業所に順次、印刷・配布します。

23 食と暮らしの安全推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	78万8千円	93万1千円	△14万3千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、大量に調理を行う学校給食施設、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店については、検査機器を用いて調理器具や従事者の手指等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生指導を行います。

(2) 食の安全に関する情報発信

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーや食中毒予防リーフレットを用いて、ノロウイルスをはじめとした食中毒や感染症予防について周知します。

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、ねずみ昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

(2) 区民が利用する施設の衛生確保

CO₂濃度測定器を用いて、施設の換気状態を数値化することにより、わかりやすい衛生管理の指導を行います。

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

【区配・局事業】食の安全確保事業（健康福祉局）

食品関係施設への監視指導等により食中毒や違反食品の流通を防止するとともに、食品の適正表示を推進して食の安全・安心を確保します。

- ・食品関係施設に対する監視指導
- ・検査による違反食品等の排除（残留農薬、放射性物質、アレルギー 等）
- ・e-ラーニングによる講習会の実施

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 環境にやさしいまち推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
		136 万 9 千円	223 万 9 千円

「SDGs の達成につながる取組」、「温暖化対策」及び「3 R 夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDGs 啓発

親子向け体験型ワークショップ、食品ロス・プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3 R 行動の紹介等を通して、地球温暖化や環境問題の観点からSDGs について学ぶSDGs 環境フェアを開催します。

2 温暖化対策

区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3 R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

(2) ヨコハマ3 R 夢推進事業

3 R 行動推進のため、つづき3 R 夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体「つづきっこ読書応援団」との協働による、区内中学校や区民の皆様を対象にしたリユース図書の募集・回収、集まった図書の区内小学校への配付、令和3年度2月から開始したフードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めていきます。

4 都筑区地球温暖化対策・3 R 夢推進会議

都筑区地球温暖化対策・3 R 夢推進会議とクリーン・3 R 夢推進功労者表彰式を開催します。

【区配事業】公共施設・公有地での緑の創出・育成事業、保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として公共施設・公有地等において、敷地内の緑化及び緑地の維持管理を支援します。

25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	98 万 3 千円	51 万 5 千円	46 万 8 千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切にすることを醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 都筑区花いっぱい運動の推進

(1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

ガーデニング講座を開催することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、各家庭から地域に花や緑が広がる契機とします。

また、都筑の四季折々の写真を募集し、フォトコンテストを開催します。

(2) 「早淵川・老馬谷ガーデン (HRG)」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。

【区配事業】 ガーデンシティ事業 (環境創造局)

ガーデンシティ横浜の推進のための先導的な取組として、市民、企業、団体など様々な主体と連携し、全市を挙げて「ガーデンネックレス横浜」を実施し、全市・地域で花と緑による街の魅力創出を進めます。都筑区では、「つづき みどりと花の名所 25 選」を巡るウォーキングイベントなどを引き続き行います。

【区配事業】 市民が森に関わるきっかけづくり事業 森の楽しみづくり (環境創造局)

森に関わる市民の裾野を広げることを目的として、自然の中で遊びながら生態系や自然の大切さを学ぶネイチャーゲームを市民の森で開催します。

26 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	346万4千円	478万9千円	△132万5千円

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に対して都筑区の実情に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供します。高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮した支援をします。

また「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展や交流会を開催します。

団体数：47 団体（4年1月現在）



《ハマロード・サポーター》

2 愛護会活動推進事業

愛護会の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈機など共用の資機材を備えるほか、東方公園のほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

団体数：155 団体（公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（4年1月現在）



《愛護会とハマロード・サポーター
合同パネル展》



《水辺愛護会 球根の植え付け》

3 活動ステップアップ相談事業

花壇管理などについて専門家の助言を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行います。

また、支援ニーズへの対応や担い手を増やすための花壇講座の開催や、区民の皆様からのニーズの高い緑道などでの自転車の通行ルール・マナーのより効果的な周知・啓発のため、リーフレットの配布に加えて、Web 媒体を活用した啓発を実施します。



《花壇講座》

4 ナチュラルガーデン普及事業

都筑区の公園や緑道の風景に合い、且つローメンテナンスのガーデン様式である『ナチュラルガーデン』を、より多くの区民の皆様にご存知いただき、区内の公園や自宅の庭等に広く浸透させ、区内全域を花と緑にあふれる豊かな環境にするため、普及啓発活動としてリーフレットを作成・配布します。



《ナチュラルガーデン》

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードや、活動に必要な道具や清掃用品を提供します。

事業の案内は、土木事務所のホームページにも掲載します。



《案内カード》

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

自治会・町内会、企業等のハマロード・サポーター各団体による市道の清掃、美化活動を支援するため、清掃用具の提供等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

公園の清掃等の日常管理や花壇づくり、利用者のマナー啓発等を行う、地域住民で組織する公園愛護会活動を支援するため、活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン